



FX BAR LZR

取扱説明書

V1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL : 0476(89)1111 FAX : 0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

STAGE EVOLUTION の FX BAR LZR をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
FX BAR LZR は赤と緑のレーザーダイオードを搭載した、マルチカラーエフェクトです。
本製品の性能を最大限に発揮し、安全に、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、
この取扱説明書を必ずお読みください。

基本仕様

- ・ 2 x 3W UV LED
- ・ 36 x 0.5W SMD LED
- ・ オートモード
- ・ マスター/スレーブモード
- ・ サウンドアクティブモード
- ・ DMX512 対応

製品仕様

モデル	FX BAR LZR
赤レーザー	100mW/650nm
緑レーザー	50mW/532nm
UV LED	2 x 3W UV LED
SMD LED	36 x 0.5W SMD LED
LED	赤 48 個、緑 48 個、青 48 個、アンバー24 個、白 24 個
DMX チャンネル	2、5、10 チャンネル
DMX コネクタ	3PIN XLR
消費電力	35W
電源	100V 50/60Hz
ヒューズ	250V 1A スローブロー (20mm)
寸法	760 x 180 x 245 mm
質量	5.2kg
クラス	Class2M

※ 製品の仕様は、予告なく変更する場合がございます。

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。
異常が認められる場合は、本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは、踏まれたり、挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への設置がすべて完了してから、本体の電源を入れてください。
4. 本体を、他の機材と接続する際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
5. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
6. ディマースタックからの電源供給は行わないでください。
7. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクタ部を持って行ってください。
8. 本体カバーを外さないでください。
9. 本製品は、屋内専用です。
10. 周辺温度が 40 度を超える環境では、使用しないでください。
11. 壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
12. 布やシートなどをかぶせないでください。
13. 周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようにご注意ください。
14. 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。
15. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントからはずしてください。
16. 本体を分解し、ケースを開けた状態で使用しないでください。
17. 付属のケーブルは、専用の電源ケーブルです。本製品をご使用の際は、必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

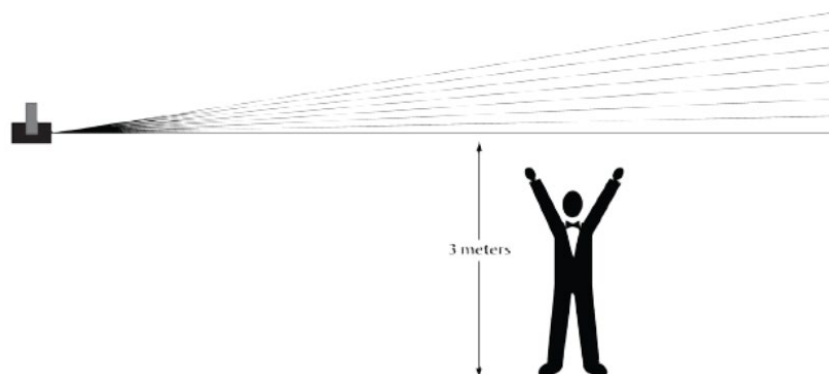
故障が生じた際は、販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

レーザーに関する注意事項

本製品は CLASS2M のレーザーを使用しています。使用するにあたり下記の注意事項をよくお読みください。

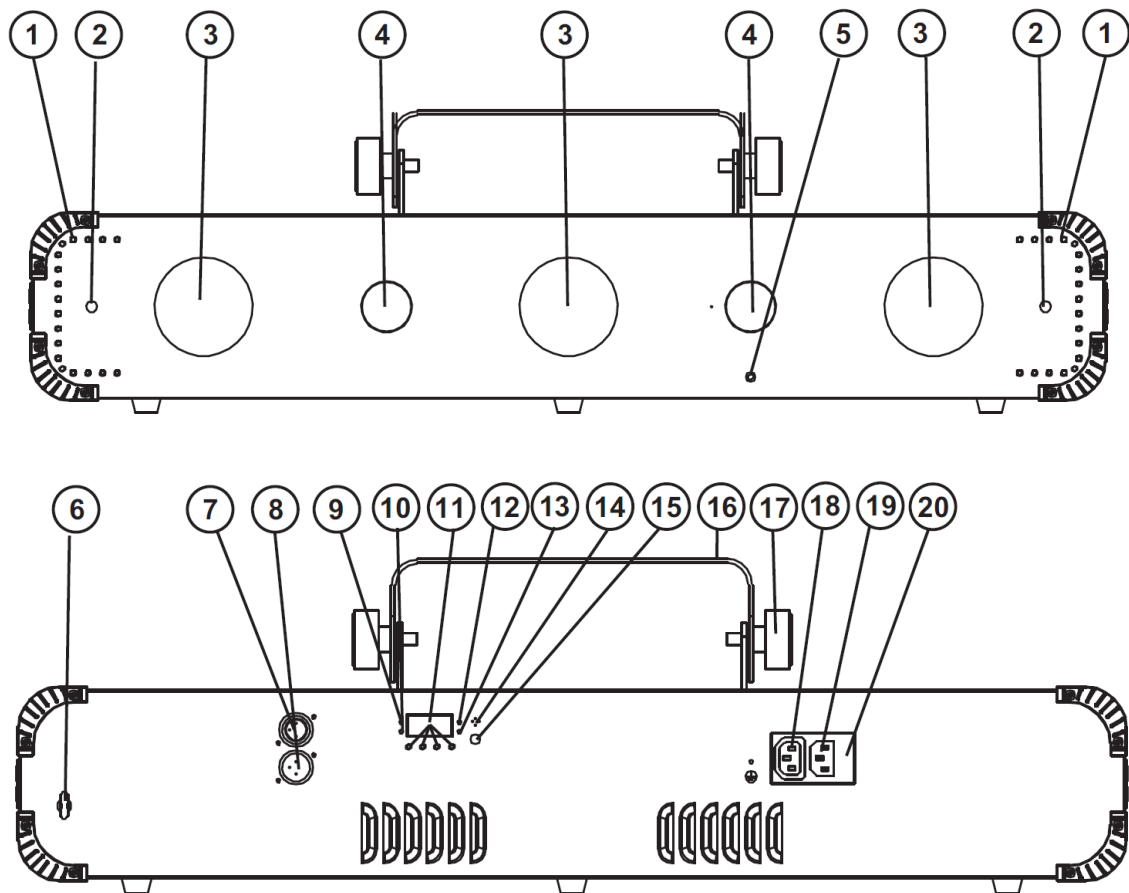


- A. 本製品より出力される光は、目の負傷などにつながる可能性があります。
- B. レーザーの光は、他の光源と異なり、網膜を傷つける危険性があります。
- C. レーザーの熱さを感じ無くても、実際には目に負担をかけ、傷付けている場合があります。
- D. 長距離からのとても弱いレーザーでも目を傷つける可能性があります。
- E. レーザーは、細かく分かれたとしても、危険性は変わりません。
- F. 目の損傷は、瞬間的に起こるため、レーザーの直視は避けてください。
- G. 床より3メートル以上の高さを照らすようにご使用ください。
- H. 不具合が発生した場合、即座に使用を停止してください。
- I. レーザーを、人や動物に向けないでください。
- J. レーザーを、人がいる場所（バルコニーなど）を狙って使用しないでください。
- K. 鏡や窓（光沢のある金属）など、光を反射するものに向けて使用しないでください。
- L. 飛行機や空に向けて使用しないでください。
- M. 化学物質を含む製品でレンズをクリーニングしないでください。
- N. 本体や、外側のレンズに損傷がある場合、また、本体のカバーが開いた状態で使用しないでください。
- O. 本製品は、演出用レーザーです。専門のオペレーターにより操作を行ってください。



※ 床より 3m 以上の高さを照らすようにご使用ください。

各部の名称



1	SMD LED	11	コントロールパネル
2	レーザー出力口	12	オートモードインジケータ
3	RGBAW LED	13	スレーブモードインジケータ
4	UVLED	14	サウンドアクティブ用マイク
5	赤外線リモコン受講部	15	マイク感度調整つまみ
6	セーフティアイ	16	マウントブラケット
7	DMX 入力端子	17	ブラケット固定ねじ
8	DMX 出力端子	18	IEC 電源出力端子
9	DMX インジケータ	19	IEC 電源入力端子
10	サウンドアクティブインジケータ	20	ヒューズホルダー

ファンクションメニュー

ディスプレイ				機 能
AUT	AU01 - AU14			オートプログラム(マスターモード)
				S.01 - S.100 プログラムスピード
SOU	SO01 - SO14			サウンドアクティブプログラム
DMX	dXXX	2CH	d001-d511	DMX チャンネルモード、及びスタート アドレスの 設 定
		5CH	d001-d508	
		10CH	d001-d503	
SLA	Slav			スレーブモード
SYS	LEDS		ON OFF	ディスプレイ消 灯 モード ON/OFF
	LEDr		ON OFF	ディスプレイの表 示 反 転 ON/OFF
	REST		YES NO	設 定 のリセット

基本操作

【オートモード】

1. ディスプレイに「AUT」と表示されるまで MENU ボタンを押します。
表示されたら ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを使い「AU01-AU14」の任意の値を表示させ、
ENTER ボタンを押します。(プログラムの選択)
3. UP/DOWN ボタンを使い「S01-S100」の任意の値を設定します
(プログラムスピードの設定)
4. ENTER ボタンを押します。

【サウンドアクティブモード】

1. ディスプレイに「SOU」と表示されるまで MENU ボタンを押します。
表示されたら ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを使い「SO01-SO14」の任意の値を表示させ、
ENTER ボタンを押します。(プログラムの選択)
3. マイク感度調整つまみを使い、マイクの感度を調節します。

【マスタースレーブモード】

1. MASTER となる FX BAR LZR をオートモード、または、サウンドアクティブモードに設定し、MASTER 機の DMX アウトとスレーブ機の DMX インをケーブルで接続します。
2. スレーブになる FX BAR LZR のディスプレイに「SLA」と表示されるまで、MENU ボタンを押します。
3. ENTER ボタンを押します。

【DMX モード】

1. ディスプレイに「DMX」と表示されるまで MENU ボタンを押します。
表示されたら ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを使い「2CH」「5CH」「10CH」の任意の値を設定し、ENTER ボタンを押します。(チャンネルモードの設定)
3. ディスプレイに「dXXX」と表示されるまで、MENU ボタンを押します。
表示されたら、UP/DOWN ボタンを使い、任意のスタートアドレスを設定します。
4. ENTER ボタンを押します。

※DMX 信号を受信すると、赤い LED が点滅します。

IR リモート



Button	Function
	On/off
	オートモード: ボタンを押すごとにプログラムが切り替わります。
	サウンドアクティブ: ボタンを押すごとにプログラムが切り替わります。
	一時停止
	プログラムの再生速度が上がります。
	プログラムの再生速度が下がります。
A	機能なし
B	
C	
0 - 9	プログラムの再生速度を設定します。
	オートモードとサウンドアクティブを切り替えます。
	機能なし

※ IR リモートは、DMX モードまたは、SLAVE モードの際は、使用できません。

DMX チャート

2 チャンネルモード

チャンネル	値	機 能
1	000-005	機 能 なし
	006-022	プログラム 1
	023-040	プログラム 2
	041-058	プログラム 3
	059-076	プログラム 4
	077-094	プログラム 5
	095-112	プログラム 6
	113-129	プログラム 7
	130-147	プログラム 8
	148-165	プログラム 9
	166-183	プログラム 10
	184-201	プログラム 11
	202-219	プログラム 12
	220-237	プログラム 13
	238-255	プログラム 14
2	000-250	プログラムスピード
	251-255	サウンドアクティブ

5 チャンネルモード

チャンネル	値	機 能
1 UV	000-005	機 能 なし
	006-055	プログラム 1
	056-105	プログラム 2
	106-155	プログラム 3
	156-205	プログラム 4
	206-255	プログラム 5
2 マトリクス	000-005	機 能 なし
	006-013	プログラム 1
	014-021	プログラム 2
	022-029	プログラム 3
	030-037	プログラム 4
	038-045	プログラム 5

	046-053	プログラム 6
	054-061	プログラム 7
	062-069	プログラム 8
	070-077	プログラム 9
	078-085	プログラム 10
	086-093	プログラム 11
	094-101	プログラム 12
	102-109	プログラム 13
	110-117	プログラム 14
	118-125	プログラム 15
	126-133	プログラム 16
	134-141	プログラム 17
	142-149	プログラム 18
	150-157	プログラム 19
	158-165	プログラム 20
	166-173	プログラム 21
	174-181	プログラム 22
	182-189	プログラム 23
	190-197	プログラム 24
	198-205	プログラム 25
	206-213	プログラム 26
	214-221	プログラム 27
	222-229	プログラム 28
	230-237	プログラム 29
	238-245	プログラム 30
	246-255	プログラム 31
3 レーザー	000-005	機能なし
	006-040	プログラム 1
	041-076	プログラム 2
	077-112	プログラム 3
	113-147	プログラム 4
	148-183	プログラム 5
	184-219	プログラム 6
	220-255	プログラム 7
4 SMD	000-005	機能なし
	006-027	プログラム 1

	028-050	プログラム 2
	051-073	プログラム 3
	074-095	プログラム 4
	096-118	プログラム 5
	119-141	プログラム 6
	142-163	プログラム 7
	164-186	プログラム 8
	187-209	プログラム 9
	210-232	プログラム 10
	233-255	プログラム 11
5 スピード	000-250	スピード 遅い → 早い
	251-255	サウンドアクティブ

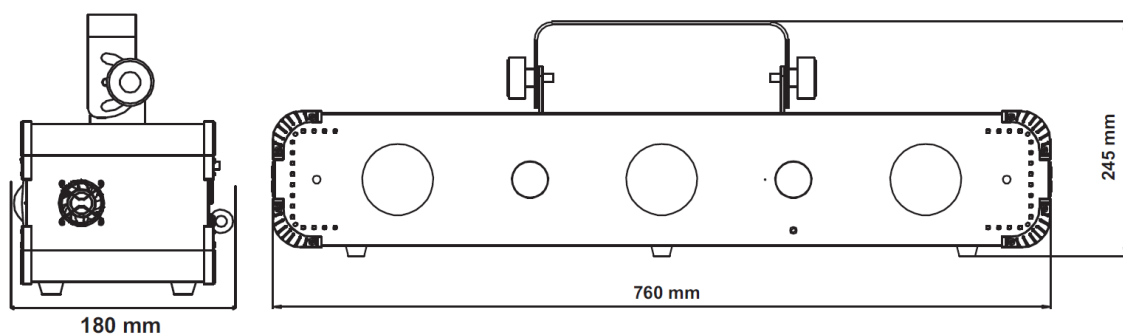
10 チャンネルモード

チャンネル	値	機能
1	000-255	UV1 ディマー
2	000-255	UV2 ディマー
3 UV ストロボ	000-250	UV ストロボ 遅い → 早い
	251-255	サウンドアクティブ
4 マトリクス エフェクト	000-005	機能なし
	006-013	プログラム 1
	014-021	プログラム 2
	022-029	プログラム 3
	030-037	プログラム 4
	038-045	プログラム 5
	046-053	プログラム 6
	054-061	プログラム 7
	062-069	プログラム 8
	070-077	プログラム 9
	078-085	プログラム 10
	086-093	プログラム 11
	094-101	プログラム 12
	102-109	プログラム 13
	110-117	プログラム 14
	118-125	プログラム 15
	126-133	プログラム 16

	134-141 142-149 150-157 158-165 166-173 174-181 182-189 190-197 198-205 206-213 214-221 222-229 230-237 238-245 246-255	プログラム 17 プログラム 18 プログラム 19 プログラム 20 プログラム 21 プログラム 22 プログラム 23 プログラム 24 プログラム 25 プログラム 26 プログラム 27 プログラム 28 プログラム 29 プログラム 30 プログラム 31
5 マトリクス	000-250 251-255	マトリクスエフェクトプログラムスピード 遅い → 速い サウンドアクティブ
6 レーザー	000-05 006-048 049-089 090-131 132-173 174-215 216-255	機能なし 赤 緑 赤 + 緑 赤点滅 + 緑 緑 + 赤点滅 交互に赤点滅と緑点滅
7 レーザー点滅	000-005 006-250 251-255	機能なし レーザーstroボスピード 遅い → 速い サウンドアクティブ
8 レーザー ローテーション	000-000 001-127 128-128 129-255	停止 レーザー時計回り 遅い → 速い 停止 レーザー反時計回り 遅い → 速い
9 SMD	000-005 006-027 028-050 051-073 074-095	機能なし プログラム 1 プログラム 2 プログラム 3 プログラム 4

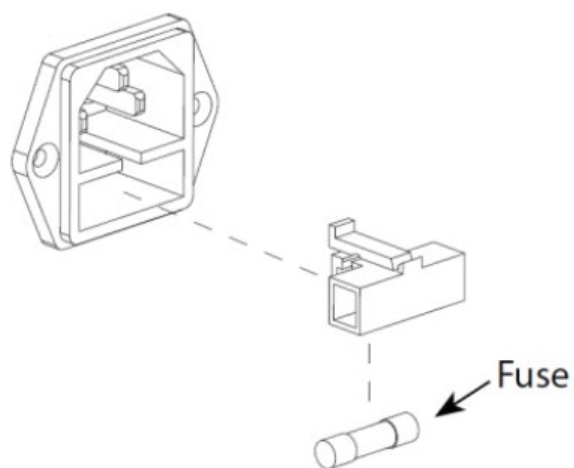
	096-118	プログラム 5
	119-141	プログラム 6
	142-163	プログラム 7
	164-186	プログラム 8
	187-209	プログラム 9
	210-232	プログラム 10
	233-255	プログラム 11
10 SMD スピード	000-250	ストロボスピード 遅い → 速い
	251-255	サウンドアクティブ

寸法図



ヒューズ交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. 電源ケーブル差込口の下にあるヒューズホルダーを取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーをもとに戻します。



メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。メンテナンスを行う際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。

1. 通常のガラスクリーナーを使い、柔らかい布でケースを拭きます。
2. 外側のレンズは、20日に1度を目安にクリーニングしてください。
3. クリーニング後、電源を入れる前に、本体が完全に乾いていることを確認してください。

※ クリーニングの頻度は、環境によって異なります。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、下記をご確認ください。

症状	確認事項
点灯しない	・電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・ヒューズがきれていないか確認してください。
サウンドに反応しない	・マイクを叩く音、非常に静かな音、ピッチの早い連続音には反応しないことがあります。

上記の方法でも症状が改善されない場合、また、その他の不具合が確認された場合は、販売店、もしくは、正規代理店までお問い合わせください。

